

OURA

vol.2

だより

現在大浦で取り組んでいる「大浦地域まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

01|施設見学&趣旨説明



施設見学では、デザインにこだわりがある施設ならではの維持管理の難しさや、海沿いに立地する公園のメリット等についての説明があり、会場では、はじめにグループごとに梅雨の思い出について語り合った後、前回の振り返りと今回のゴールを見据えた趣旨説明を受け、和やかにワークがスタートしました。

【第2回ワークショップのゴール】

- 【ゴール①】それぞれのニーズ・機能を、どの施設でどのくらい担えるのかを考える
- 【ゴール②】建物（ハード）と機能（ソフト）の関係性について目を向ける

【次回お知らせ】「公共施設の活かし方を考える」

日時：2025年7月13日（日）10:00～12:00 会場：大浦会館

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。

詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。【お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045】

【第2回】
会場：舞鶴親海公園
M's deli
日時：2025年6月22日
参加者：35人
(うちWS参加者26人)



02|ワークショップ

1 自分たちの「したいこと」をまとめてみよう

自分たちの「したいこと」を出し合い、カードにまとめました。「マルシェ」や「魚釣り」など、多くの意見が出ました。



2 どこで担えるか考えてみよう

第1回目から出た「ニーズカード」と①で出た「したいことカード」をどの施設で担えるかを考え、地図に貼りつけました。



3 10年後くらいの未来の視点で、施設を確認しよう！

- 「10年後も必要だと思う/活用できそう」
- 「使えるけど条件次第（改善が必要）」
- 「使うイメージがわからない」

施設ごとに該当する色のシールを地図に貼り、「地域の魅力をもっと活かしたい」、「施設の利用方法が分かりづらい」など気づいたことを班ごとにまとめました。

完成した模造紙の詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



03|全体共有&講評



各班から、思いをまとめた模造紙を使っての発表があった後にアドバイザーから講評がありました。

・堤先生（前橋工科大学准教授）

「小さな活動が大きな動きにつながるので、小さなこと、やれそうなことをまずやってみる。何かをやるにはすぐやるのが大事。」

